

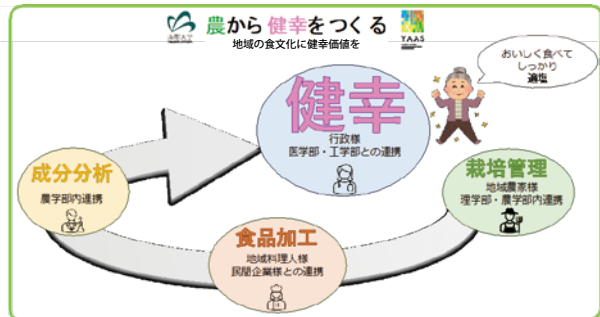
やらないと損！我慢ゼロの疾患予防 ～行動経済学を活用した健幸経営～



キーワード 医療費削減, 生活習慣病予防, 行動変容, 適塩, 排塩

研究概要

東北エリアは、全国でもトップクラスの高血圧患者数であることが知られています。高血圧予防に減塩が有効であることは周知の事実ですが、その実践・継続は難しい状況にあります。これまでに私たちは、食べてしまった塩を身体から排泄する「排塩効果」が期待される農産物の栽培管理、加工、成分分析を実施し、食材の栄養成分を確認したのち、複数の食材を対象とした食臨床試験によって排塩効果が期待できる特徴（個人差）を掴んでいます。さらに、行動経済学的手法を活用することで、無理なく食材摂取を継続できる方法が見つかってきています。



ちょっと気になる！と思った民間企業の経営者のみなさま、行政のみなさま
最先端科学の手法を取り入れて、従業員や地域住民の医療費リスクに備えませんか？
＊全てのご要望に対応できない可能性がございますので、お早めのご相談を推奨いたします。

厚生労働科学研究費補助金「食環境づくりの推進を通じた減塩の取組がもたらす公衆衛生学的効果及び医療経済学的効果を推定するための研究」メンバーとして国策レベルの研究に従事し、成果を地域のみなさまの生活にいち早く役立てたいと考えております。

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 民間企業、行政、高等学校における探求学習など

五領田 小百合 助教 GORYODA, Sayuri

専門分野：実装科学，行動科学，公衆衛生学
E-mail：goryoda@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

